

第2期 新型コロナウイルス感染症拡大防止協力金申請書

様式1

京都府知事 西脇 隆俊 様

（申請日） 令和3年 月 日

※受付番号は、記入しないでください。

申請者についての情報	申請区分	1: 中小企業・団体 2: 個人事業主 ※いずれかに○				受付番号 ※						
	フリガナ											
	法人名											
	フリガナ					S: 昭和 H: 平成						
	【法人】代表者役職・氏名 【個人】氏名			代表者・個人性別	M: 男 F: 女	代表者・個人生年月日		年		月		日
	【法人】所在地 【個人】自宅住所	〒 ※番地や建物名まで記載してください。										
		都道府県		市区町村								
	電話番号											
	担当者名					担当者電話番号						
	連絡先メールアドレス											
	常時使用する従業員数(人)		資本金(円) ※			法人番号 ※						
	※資本金及び法人番号は、申請者が法人の場合に記入してください。											
申請する店舗数												

施設についての情報													
1	☐ 本施設は、第1期(令和2年12月21日～令和3年1月11日)時短要請の協力金に申請済みです。												
	☐ 本施設は、第1期(令和2年12月21日～令和3年1月11日)時短要請の協力金への申請を行っていません。												
	フリガナ					営業許可番号	許可証上部の番号を記載						
	施設名称(店舗名等)												
	施設の種類の (別表1から記入)	コード				施設の種類の(具体的に記載してください)							
	所在地	〒 ※番地や建物名まで記載してください。											
		京都市 区											
	通常の営業時間	:		～	:		⇒	①時間短縮する場合の営業時間	:		～	:	②終日休業する場合は✓
	＜通常の営業日＞ ※前年の実績						＜時短対応した期間＞						
	2020年1月						2021年1月						
	12	13	14	15	16	17	18	⇒	12	13	時短対応した日数	→時短要請に応じた日(終日休業した日も含む)に「○」、定休日等の店休日に「定」を記入してください。(もととも21時までに閉店する日は空欄) ※前年と定休日等の店休日異なる場合には、理由書(様式4)を提出してください。	
日	月	火	水	木	金	土	火		水	日			
営業日に「○」、定休日等の店休日に「定」を記入してください。													
※1月12日(火)午前0時から1月13日(水)午後12時までの間、定休日等の店休日を除く全ての営業日において、連続して時短要請に応じていただく必要があります。 準備の都合等特別な事情があり、1月12日(火)から時短要請に応じることが困難な場合は、その事情を以下の記載欄に記載してください。その場合も、遅くとも1月13日(木)午前0時から時短要請に応じていただかなければ対象になりません。													
記載欄													

申請額 (1店舗当たり)	(日額)	(時短対応した日数)			
	4万円	×	日	＝	万円

【注】2施設(店舗)以上申請する場合は、別紙「様式1-1」を使用し、各施設(店舗)に関する情報を記入し、添付してください。

法人名又は 個人事業主氏名	
------------------	--

様式1－1

※2店舗以上ある場合は、この用紙を使用してください。

施設についての情報																																											
2	☐ 本施設は、第1期(令和2年12月21日～令和3年1月11日)時短要請の協力金に申請済みです。																																										
	☐ 本施設は、第1期(令和2年12月21日～令和3年1月11日)時短要請の協力金への申請を行っていません。																																										
	フリガナ										営業許可番号		許可証上部の番号を記載																														
	施設名称 (店舗名等)										営業許可番号																																
	施設の種別 (別表1から記入)				コード				施設の種別(具体的に記載してください)																																		
	所在地				〒 _____ ※番地や建物名まで記載してください。																																						
	通常の営業時間				: ~ :		⇒		①時間短縮する場合 の営業時間		: ~ :		②終日休業する 場合は✓																														
	＜通常の営業日＞ ※前年の実績								＜時短対応した期間＞																																		
	2020年1月 <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse; text-align: center;"> <tr> <td>12</td><td>13</td><td>14</td><td>15</td><td>16</td><td>17</td><td>18</td> </tr> <tr> <td>日</td><td>月</td><td>火</td><td>水</td><td>木</td><td>金</td><td>土</td> </tr> <tr> <td> </td><td> </td><td> </td><td> </td><td> </td><td> </td><td> </td> </tr> </table> 営業日に「○」、定休日等の店休日に「定」を記入してください。								12	13	14	15	16	17	18	日	月	火	水	木	金	土								⇒		2021年1月 <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse; text-align: center;"> <tr> <td>12</td><td>13</td> </tr> <tr> <td>火</td><td>水</td> </tr> <tr> <td> </td><td> </td> </tr> </table> 時短対応した日数		12	13	火	水			→時短要請に応じた日(終日休業した日も含む)に「○」、定休日等の店休日に「定」を記入してください。(もともと21時までに閉店する日は空欄) ※前年と定休日等の店休日異なる場合には、理由書(様式4)を提出してください。			
	12	13	14	15	16	17	18																																				
日	月	火	水	木	金	土																																					
12	13																																										
火	水																																										
※1月12日(火)午前0時から1月13日(水)午後12時までの間、定休日等の店休日を除く全ての営業日において、連続して時短要請に応じていただく必要があります。 準備の都合等特別な事情があり、1月12日(火)から時短要請に応じることが困難な場合は、その事情を以下の記載欄に記載してください。その場合も、遅くとも1月13日(木)午前0時から時短要請に応じていただかなければ対象になりません。																																											
記載欄																																											

申請額 (1店舗当たり)	(日額)	(時短対応した日数)	4万円 × 日 =	万円
-----------------	------	------------	--------------------------	----

【注】

- ・複数施設(店舗)を申請する場合は、「様式1－1」に各施設(店舗)に関する情報(1施設(店舗)につき1枚ずつ)を記入するとともに、添付書類(「別表3」⑦～⑭)の表紙として使用し、1施設(店舗)ごとに提出書類をまとめて提出するようにしてください。
- ・「〇〇屋四条店」など、どの施設(店舗)分か分かるように記載してください。